

KU博士キャリアセッション

清家 美帆 博士 講演会

「令和時代のキャリアと選択 千里の道も一歩から」



日時 令和6年12月25日 (水)
16時30分～18時30分

会場 金沢大学自然科学大講義棟
AV講義室 (オンラインで同時開催)

【講師紹介】

清家 美帆 (せいけ みほ)

広島大学大学院先進理工系科学研究科 特定准教授

同 防災・減災研究センター 地域復興マネジメント研究分野

専門分野 社会基盤 (土木・建築・防災) / 安全工学、防災工学
経歴

- ・2010年3月 金沢大学 工学部 人間・機械工学科卒業
- ・2012年3月 金沢大学 大学院自然科学研究科人間・機械科学専攻 博士前期課程修了
- ・2012年7月 - 2012年9月 JSTイノベーション創出若手研究人材養成プログラムDC型, SFPE台湾支部
- ・2015年3月 金沢大学 大学院自然科学研究科システム創成科学専攻 博士後期課程修了
- ・2015年4月 金沢大学 理工研究域機械工学系 博士研究員
- ・2016年4月 國家災害防球科技中心 (台湾), 地震・人災部門, 招聘助理研究員
- ・2017年4月 富山県立大学工学部助教
- ・2020年4月 広島大学大学院先進理工系科学研究科 助教
- ・2023年3月 現職

【清家博士からのコメント】

金沢大学を修了してちょうど10年が経とうとしています。
当時英語が苦手な成績も中くらいだった私も、アカデミックの職で中堅に差し掛かります。
多くの優秀な先生方にご教示いただきながら、良し悪し含め一歩一歩積み上げてこられたのは、博士後期課程を選択し、一つのことを努力して、一つでも成し遂げることができたという、根拠のある自信を持つことができたからです。
聴講いただく皆様にとって本講演が将来を深く考慮したキャリア選択の一助になれば大変嬉しく思います。

【清家博士の研究について】

Research interest:

災害全般、特に火災と避難に着目。能登地震のボランティアに参加し、現在ある問題点を直接見ることを心がけている。

研究内容:

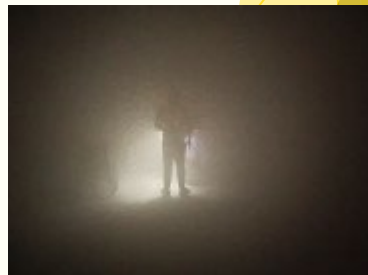
巨大閉鎖空間災害時のパニックやフリーズを含めた避難意思決定モデルの再構築を目指した研究。

巨大閉鎖空間火災時、多様な避難者 (性別・年齢・多国籍・病歴等災害弱者) に対する心理状況や避難挙動を加味した群衆避難解析を行い、パニックモデル化を研究。

競争的資金採択等

- ・2021年11月 JST 創発的研究支援事業2021年度採択
「巨大閉鎖空間近未来都市の火災安全設計」

(写真) 実大トンネルを用いた煙中の避難実験



【主催】 金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)

金沢大学学務部キャリア支援室

【連絡先】 金沢大学学務部学生支援課大学院進路係

076-264-6044 daigakuin-c@adm.kanazawa-u.ac.jp

申込コード▶

